



TOKYO SINFONIA

指揮のコンセプト 1日セミナー

テーマ コロナ禍を生き延びた東京シンフォニアのコンセプトとは
講師 東京シンフォニア音楽監督 ロバート・ライカー
日時 2021年12月10日（金）09:30-17:00
場所 フランシスカン・チャペル・センター 六本木
参加資格 年齢 経験不問、先着20名

本セミナーの特徴

- ・オーケストラの実際のリハーサルをセミナーの場とする（日本語）
- ・各受講者に対し、東京シンフォニアメンバーが個別パートナーとしてマンツーマンの対応を行う
- ・受講者と講師やパートナーとの双方向コミュニケーションの機会を多く設け、理解を深める

スケジュール

09:30-10:00 東京シンフォニアのコンセプト、セミナー内容説明
10:00-11:30 セッション1：シュトラウス「メタモルフォーゼン」 ランスルー、Q&A
11:30-11:45 休憩 Q&A、ディスカッション
11:45-13:00 セッション2：シュトラウス「マクベス」 ランスルー、Q&A
13:00-14:00 昼休み パートナー奏者とのランチ、Q&A、ディスカッション
14:00-15:30 セッション3：シュトラウス「交響曲へ短調」 ランスルー、Q&A
15:30-15:45 休憩 Q&A、ディスカッション
15:45-17:00 セッション4：実技 講評、アドバイス

*全日の参加が難しい場合ご相談に応じます

お申し込み、詳細のお問合せ info@tokyosinfonia.com 03-3588-0738

費用 5,000円（参加者とオーケストラパートナーの昼食代）参加者は12月15日 王子ホールコンサートへご招待



東京シンフォニア

アットホームな雰囲気の中にも高い芸術性を持って、どんな機会にも対応した演奏を提供する、世界でもユニークな室内オーケストラ。あたたかい音色、いきいきとした表現力の特徴とし、音楽監督ロバート・ライカーの音楽への愛情を音であらわす。イマジネーション溢れる選曲とプログラム構成が好評。モットーは、オーケストラは大きいサイズの室内楽、メンバー全員がソリスト。銀座王子ホール、日本外国特派員協会、東京メソニックセンター、各国大使館、名古屋、仙台、横浜等で公演を行ってきた。

ロバート・ライカー

東京シンフォニア音楽監督。200回以上の東京シンフォニアコンサートを指揮。3つの国でオーケストラを創設し、50都市以上で音楽活動を行う。演奏会用曲目の幅を広げ、新しい観客層を築くための編曲は約600曲。インディアナ大学卒業、ピーボディ音楽院博士課程修了。東京国際大学客員教授。音楽への貢献を認められ、カナダ芸術振興会、ケベック州、米国防長官より表彰や助成金を受領。